

# この学校にわたしたち

2022. 09. 9 N026

## 先の時代を見越して今を「生きる」

夏休みに入ってすぐの土日に、私は教職員生活をスタートさせた第2の故郷である紀州を訪ねました。年に何度も訪ねているものの今回は山の木の伐採がされている箇所が多さが気になりました。杉やヒノキがほとんどだと思いますが、一般に杉は成長するまでに30年～40年、ヒノキは60年以上かかると言われています。私が紀州にいたのが30数年前で、その時植林したものが今、ようやく伐採できるサイズに成長したということになります。ヒノキはその倍近く年数を要するため、今、伐採できるものは戦後、間もなく植林されたものとなり、その時間の長さに驚かされるばかりです。以前、林業に携わっている人と話をした際、「自分は木を伐る時、これを植えた人のことを思い、感謝しながら作業をする。そしてそのあとに植林をする時、将来の伐採者から感謝される自分でありたい。」と聞かせてもらったことがあります。



家庭教育も学校教育も「人を育てる」というのは、林業同様、今、すぐに結果ができるものではありません。近視眼的に見て、「今、成績がよい」「今、言うことをきくよい子」というのは、林業で植林をする時の苗の状態でしかありません。また、「いい学校に進学した、就職した」というのも大切ですが、それはあくまでも途中経過であり、本来の教育の目的ではないのではないのでしょうか。子どもが何十年か経った時に、「いろいろなことを乗り越えて、自分は成長することができた」「保護者や先生のおかげで立派な大人になった」、そんな風にふと思ってもらえるよう、私たち大人は先を見越して、今を行動していきたいと思います。私はかねてより、自分のやってきたこと（授業や励ましの言葉など）の評価は10年、20年経たないと分からないと思いながら、毎日毎日を過ごしてきました。先日、当時人間関係で悩んでいる児童に私がかけた一言で教師を目指し、現在、小学校で頑張っているという話を聞き、大変嬉しく思いました。そして、これからも次の10年、20年先のことを考えながら、今、出会う子どもたち1人1人と真剣に関わっていききたいと思いました。

## 夏休み中もパトロールをしていただきました

休み中ではありますが、ハッ山青少年を守る会および家城駐在所が共同で校区内をパトロールしていただきました。

駐在所においては土曜日の夜間もパトロールをしていただいているとのことで日常の地道な活動が犯罪を抑止することにつながります。いつも有難うございます。

